

事業名：「中東情勢/実務セミナー」

場 所：ホテルルポール麹町

実施日：平成26年10月10日（金） 10：30～13：00

演 題：「持続的成長を続けるカタール国への日本のビジネスチャンス」

「千代田化工建設のカタールに於けるポストLNGプロジェクトの挑戦」

講 師：Chiyoda CCC Engineering Ltd. 社長 香田 圓 氏

プログラム： 開会挨拶

講演（60分）

質疑応答（20分）

懇親会

<実施内容>

実務に役立つ情報提供を目的に開催されている「中東情勢/実務セミナー」は今回で4回目を迎えた。

今回のセミナーにおいては、中東地域で長い経験と実績をもつ Chiyoda CCC Engineering Ltd.社長の香田様より、前半は持続成長を続けるカタール国についての国概要、今後のビジネスチャンス、そして各国企業の動きについてご講演いただいた。後半は、千代田化工建設のカタールに於けるポスト LNG プロジェクトの挑戦と題し、全世界の天然ガス埋蔵量総量の約13%、現在の日本の年間 LNG 輸入量に対し約207年間供給可能な量を誇るカタールでのプロジェクトについてご講演いただいた。

カタールと日本の経済面でのつながりは深く、日本は最大の貿易国である。面積は秋田県とほぼ同じ、人口は長野県と同程度（約217万）と小国ながら、LNG、石油、石油化学と豊富な資源に恵まれ急激な経済発展を誇るカタールは、2030年までの長期国家方針を立ち上げている。その方針とは、人材開発、環境と開発、社会発展、経済発展の4つの柱を掲げており、インフラ、教育・文化・医療、小売りサービス等多方面において日本企業にはビジネスのチャンスがあると香田氏は語る。価格競争力やコンサル・マスタープラン分野への参画が乏しいなどの弱みもあるが、日本企業の強みは高品質、安全性、納期を守るなどの信頼関係、カスタマーサービス等があり、日本企業の進出に期待感を示した。

講演後の質疑応答では、長い中東経験を積まれた香田氏に対する高い関心が寄せられ、現地での苦労話について問われると、以前は欧米人との交渉であり、2005年以降になってようやく現地人の採用が主体的になってきたが優秀であり、特に苦勞を感じていないとの回答であった。また、外国労働者の育成・雇用維持の方策についての質問に対し、30か国を超える雇用者を抱え、日本のように終身雇用は珍しく転職は当たり前の状況のなかで、現在は国際社会における人材確保、管理職の外国人登用に道を開いていくこ

とにチャレンジしており、具体的には賃金体系やキャリアディベロプメントの提供等取り組んでいるとの回答であった。この他にも、会場からは活発に質問の手が上がった。

<成 果>

講演後に実施したアンケートの総合評価において、5段階評価で4.32の高い評価を頂いた。

講演について、「生のビジネス体験の話を伺えて大変よかった。」「カタール全般からLNGプロジェクトの概要まで興味深く伺いました。」「日本企業としての強み、弱みについてお話いただき大変参考になりました。」など有益であったとの感想が寄せられた。

今後のセミナーのテーマ設定については、中東での現地人採用方法について、カタール国以外の国について類似テーマ、中東での起業経験、GCC各国のビジネス習慣、マナー、文化について等ご要望を頂いた。今後のテーマ設定の参考としたい。

